

今回は、私がサービスマン管理責任者を務める就労移行支援事業所「アフレッシューいわき」のある利用者の事例とともに、アフレッシューいわきが実施している「グループワーク」について紹介します。

Aさんは、私たちの事業所が開所した様子を報じた新聞記事が両親の目に留まり、体験を通して利用開始となりました。対人恐怖症があり、他の利用者と一緒に訓練できそうにないとの相談を受け、室内にパーティションを区切り、特定の支援員としか顔を合わせない状況からのスタートになりました。数カ月経ったある日、卓球大会が開かれ、Aさんも参加することになりました。そこには、会話としないものの、黙々とゲームをしているAさんの姿がありました。学生時代には卓球部に所属していたこともあり、半ばむきになって勝負にこだわっていました。これがきっかけとなったのか、他の

民 報 サ ロ ン

利用者と同じ環境下で訓練を行うようになり、「グループワーク」に参加する回数も増えていきました。グループワークとは、複数の利用者が参加するイベントのことで、例えばビジネススマナー講座やクッキング、ウォーキングなどがあります。利用者は、一人一人違う人生を歩んできており、目指すコ

もありません。着いてリラックスできて字が上手くなり、履歴書をきれいに書くことができるところになります。就労移行支援事業所には、各事業所にそれぞれの特色を反映した名物ワークがあります。海の近くでは海岸清掃をしている事業所もあれば、舞台演劇をやっている事業所

名物グループワーク



永山 牧子

ールも違います。だからこそ、私たちは、一人一人に合ったプログラムで支援しています。その上で、利用者が一緒に参加できるグループワークなどで訓練をしているのです。

また、私たちが加盟している「社会福祉支援研究機構」には、全国の加盟事業所向けに「繋がってるよ、笑顔になろうよ」というWEBで全国の利用者が事業所からでも自宅からでも、一堂に参加できるグループワークプログラムがあります。最近では第三十四弾として手話教室がありまし

た。ちなみに、元SPEDの今井絵理子さんの息子さんが所属するプロレス団体の代表による「プロレス式トレーニング」もあります。二〇一九年の世界陸上ドーハ大会の男子四百リレーの銅メダリスト白石貞良さんのス

ペンで写経をするのですが、心が落ち

第三十四弾として手話教室がありまし

ス管理責任者